月刊
新翔タイムズ
第61号
新翔タイムズ編集室
発行・熊野新聞社

面接も体験　就職試験に備える

「就職ガイダンス」開催

新翔高校（竹村貢校長）では、7月25日に就職希望生を対象とした、「就職ガイダンス」を実施した。これは、厚生労働省が新規高卒者への就職支援の一環として行っているもので、ハローワークの職員や教員らが見守る中、76人の生徒が参加して行われた。

午前中には、近年の就職状況や企業が求めている能力、就職後の離職状況などについて学習した。その中で、あいさつやコミュニケーション力を高めるためのゲームもあり、生徒たちは真剣な中にも楽しく取り組んでいた。

午後からは、講師の先生が面接官になり、面接試験を体験した。そこでは午前中に考えた自己紹介文を発表する中で、あいさつの仕方や声の大きさ、表情など印象を良くするポイントを講師の先生から指導してもらった。

午前9時から午後3時まで行われた就職ガイダンスもあっという間に終了し、生徒たちは有意義な就職活動の時間を過ごした。その後、多くの生徒たちは疲れた様子を見せることなく、学校に来ている求人票を閲覧したり、職場見学を担当の先生に申し込んだりしていた。

生徒たちは、今後関心のある企業への応募前の職場見学を行うなどして受験する企業の決定をした上で、9月から始まる就職試験に備える。

新翔の授業を中学生に

「オープンスクール」で紹介

新翔高校では8月6日に中学校生徒教育体験学習を開催した。総合学科についての説明や授業、実習の体験を通して、新翔高等学校をよく知ってもらおうという目的で、例年この時季に行われているが、本年度は新宮市、東牟婁郡内の12中学校から148人が訪れた。竹村校長の開会あいさつの後、学校概要や学校生活について説明がなされた。学校説明では、生徒会長・坂地純弥君、副会長・木戸地優衣さんがプレゼンターを務め、特色のある科目、学校行事、クラブ活動などについてスライドを駆使し、丁寧に説明した。

本校の特色ある科目を体験してもらおうと、ワープロ・観光・建設実習・熊野と防災・選択体育・服飾手芸・芸術・国語・数学など16の講座を開設、その中から中学生は二つの科目を選択し授業を受けた。ワープロ講座では「10分間にどれだけ文字が打てるか」に挑戦、建設演習ではバックホウを実際に試乗体験、ミサンガ作り（服飾手芸）やオリジナル扇子作り（書道）、シンメトリーなハンカチーフ作り（工芸）などを体験し、「新翔高校ではどんなことをしているかが分かって良かった」「体験できて楽しかった」などの感想が寄せられた。授業体験の後、中学生はクラブ見学を行い、体験学習は終了した。

「高校生よみかたりボランティア養成講座」開催!!

昨年に引き続いて、第5ブロック合同の「高校生よみかたりボランティア養成講座」が8月8、9日と行われ、本校からは6人（1年生3人・2年生2人・3年生1人）が参加しました。全体で13人となり、猛暑の中、新宮市蜂伏のメダカ文庫で山田てるみ先生、伊藤松枝先生の講義を受けました。

1日目は「なぜ読み聞かせをするのだろう？」から始まりました。読み手と聞き手が共に楽しむ行為である読み聞かせは、決して〝聞かせる〟という高圧的な行為になってはいけないということをまず確認しました。

次に「絵本について」「紙芝居について」ということで、絵本選びや絵本の持ち方、めくり方、読むときのポイント、また紙芝居については絵本との違いや歴史、種類など丁寧に教えていただきました。この間、先生方による何冊かの絵本、紙芝居を使っての実演があり、楽しくうっとりと聞かせていただきました。

その後「おはなし会のプログラムづくり」となり、プログラムを作る前の注意点などを教えていただき、グループに分かれて、おはなし会の準備に入りました。各自選本、紙芝居選びをし、選んだものを持って帰り、下読みを十分することを確認して1日目は終了しました。

2日目は、どんなおはなし会（対象児童、時間、場所など）にするのかを想定して昨日選んだものを組み立て、先生方にアドバイスを頂きながら、グループごとに打ち合わせ・練習を行いました。そしていよいよ発表の時間！　緊張した空気の中、新翔2グループから始まり、新宮グループ、串本古座グループと続きました。4グループが終了したあと、先生方から講評を頂きました。短時間だったにもかかわらず、本選びや構成が良かったと褒めていただき、生徒たちはほっとした顔を見せてくれました。最後に2日間の反省会を行い、今年度の講座を無事終了しました。

クラブ紹介

弓道部

現在、弓道部は男子1人、女子4人、計5人（全て2年生）という少人数で活動しており、8月の弓道選手権大会、11月の新人大会に向けて日々練習に励んでいます。

本校の弓道部は高校から弓道を始める生徒がほとんどで、現部員の5人も入学後から練習を始めました。練習はまず徒手で動作を覚え、それからゴムでできた弓、本物の弓、と段階を踏んで進んでいきます。一人で的前に立って練習できるようになるまで、約3カ月かかります。

弓道は調子の良し悪しが的中という形ではっきりと示されます。100本引いても5本もあたらない、ということもあります。調子が悪いことが続くと、どうしてもモチベーションが低下してしまうのですが、そんなときにこそ成長のチャンスがあります。何が悪いのか、どのように直せばよいのか。自分の射形を把握し、アドバイスに耳を傾け、また本を使って学んでいくことで、安定して高い的中を出せるようになります。

弓道は射を通して自分をみつめ、的中が出ないときでも努力し練習を重ねる中で、射手としても人間としても成長できるスポーツです。

以上のような考えの下、段位の取得、公式戦での入賞を目指して精いっぱい頑張っていきます。応援よろしくお願いします。

◆先生の紹介◆

丸山健太 先生

初めまして！　4月から新翔高校で勤務させていただいている商業科の丸山健太です。和歌山市から新宮の土地に引っ越してきて、はや5カ月が過ぎました。初めのうちは、実家から遠い（片道3時間）こともあり、少し戸惑いもありましたが、今では人々が優しく、海の幸がおいしい新宮の地に来られて良かったと思っています。前任校の箕島高校では吹奏楽部の顧問をしていましたが、新翔高校では野球部の副部長としてグラウンドに立……たずに、引率や部費の管理などに全力を賭しています。吹奏楽には中学校の頃から現在25歳になるまで親しんでおり、楽器の演奏や指揮が趣味でもあります。他にも、映画鑑賞・旅行・ファッションなど人並みの趣味をたくさん持っています。教員としては本年度で4年目となります。今年度は初めての土地・初めての担任・初めての野球部等々初めてづくしで、時にはパニックになりながらも、先生方のお力添えを頂きながら、また、生徒からも有り余る元気をぶつけられながら、楽しくも充実した日々を過ごしています。まだまだ、教員としても人としても未熟な部分が多々あるかと思いますが、マイペースの日々精進を胸に少しずつ成長していきますので、優しく見守っていただければ幸いです。これから、よろしくお願いいたします！

「花王」を訪問

キャリアアップ　職場見学

7月23日に、2年生20人（男子3人、女子17人）がキャリアアップ計画の職場見学として、和歌山市にある花王株式会社和歌山工場と花王エコラボミュージアムへ行ってきた。洗剤を作る材料から学び、環境への働き掛け（エコ）について学んだ。工場排水を少なくし、きれいにして排水することで環境に配慮していること。梱包（こんぽう）の工夫で効率的な配送、容器の工夫などでプラスチックゴミの減量をしていること。また、工場内を見学し、製品を作るということをしっかりと学び、働くことがどういうことかを学べた一日になった。